



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイ政府広報局は、「SAWASDEE THAILAND (サワディータイランド)」という日本語にも対応した多言語ポータルサイトを立ち上げました。このポータルサイトからは、健康・公衆衛生、移動・交通、観光、食べ物など様々な分野のトピックスの他、安全情報、タイの文化などの最新情報を入手することができます。タイ渡航を検討されている方は渡航前にぜひ一度ご覧いただくのも良いかもしれません。

SAWASDEE THAILAND : <https://thailand.go.th/home>

## 2. 現地ビジネス情報（政権交代 新首相決定）

8月22日、タイの新首相が遂に決定しました。5月に実施された総選挙で第一党となった前進党が首相指名選挙で過半数を獲得できなかったことを受け、第二党であるタイ貢献党が前進党を外した上で、軍との関係性が深い2政党を含む11党との連立を組みました。その結果、タイ貢献党のセター氏が新首相就任となり、変化を望んだ民意とはかけ離れた結果となってしまいました。今のところ現地では大きな混乱はありませんが、SNS上では連日国民による激しい議論が交わされています。

政治的対立に関する世論調査では、「これまでに国内政治的グループのデモに参加したことがあるか」との質問に対し、「参加したことはない」が約87%で最も多くなっており、報道によって多くの方がデモに参加されているようなイメージを持ちますが、実際にはデモに参加した経験者はそう多くないようです。また、以前のような暴力的なデモではなく、SNSを通じ集まった若者が静かに佇んでいることが多いのも特徴です。

新首相として第30代首相に就任するセター氏（60歳・2022年にタイ貢献党に入党）は、5月の総選挙前に不動産大手企業のサンシリ协会会长を辞職していますが、選挙には立候補しておらず、民間人として首相に就任することになります。タイにおいては大手企業の経営者は既得権益層との大きなつながりがあると見られており、それらを危惧する声が出ております。

主要な政策として、最低賃金の引き上げなど進出日系企業に直接関係する項目もあります。11党の連立となるため、組閣人事には時間がかかると目されていましたが、9月2日には国王が新内閣を正式に承認し、新たな政策による経済活動の活性化が期待されています。

### 連立政権の主要な政策

16歳以上の国民にデジタル通貨で1万バーツ(約4万1,600円)を配布

2027年までに1日あたりの最低賃金を600バーツに引き上げ

学士に対して月額最低賃金2万5,000バーツ

大部分はタイ貢献等の選挙公約に沿った内容（医療用大麻の使用についても推進方針）



バンコク中心部に集まった  
民主派デモ隊（8月上旬）

## 3. 現地トピックス（ロイヤルプロジェクト）

タイには前国王ラーマ9世の主導で1969年に開始されたロイヤルプロジェクトという活動があります。ケシの花の栽培が盛んなタイ北部の山岳地帯（ゴールドトライアングル）では、地元住民の健康被害が深刻となり、焼畑農業による環境破壊と麻薬を撲滅し、ケシの代わりになるコーヒーや果物の栽培を促したことがプロジェクトの始まりとされています。

今日では、食品、コスメ、フルーツ、野菜、工芸品等、その種類は幅広く、ショッピングモールやスーパーなど多くの場所でロイヤルプロジェクト商品を購入できます。100%国産で安価かつ高品質のドライフルーツ、蜂蜜、コーヒーは、タイのお土産としてもおすすめです。



店頭に並ぶ商品

【本件に関する連絡先】 荘内銀行営業推進部 地方創生室 軽部・齋藤 023-626-9050